

レジメン名		G-CHOP (1コース目)		
対象がん種	悪性リンパ腫	対象患者	確吐リスク	高度
			1コースの日数	21
内服抗がん剤の有無	あり		投与予定回数	1
			投与回数上限	1
※有の場合薬剤名	プレドニゾン <small>(点滴の場合なし)</small>			

副作用情報(頻度が高い、特徴的な副作用など)		
項目	頻度(%)	対処法(減量・中止など)
血液毒性	好中球減少	50.6% G-CSF
	血小板減少	11.4% 血小板輸血、休薬
その他	infusion reaction	68.2% 中断、投与速度の変更、薬剤使用、 制吐剤
	悪心・嘔吐	42.0%
	便秘	38.0% 下剤

レジメン内容(支持療法を含む)

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度・時間	投与時刻(必要時)	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	100mL/hr			●																					休薬完了
2	ポラミン 生理食塩液	5mg 50mL	点滴静注	100mL/hr			●																					
3	ガゼイバ 生理食塩液	1000mg 210mL	点滴静注	初回 12.5mL/hr、 30分ごとに 12.5mL/hrずつ 最大 100mL/hrま で増量可			●																					
4	生理食塩液	100mL	点滴静注	200mL/hr			●																					
5	オンコピン 生理食塩液	1.4mg/m2 (最大2mg) 50mL	点滴静注	500mL/hr			●																					
6	ドキシソジン 生理食塩液	50mg/m2 100mL	点滴静注	200mL/hr			●																					
7	エンドキサン 生理食塩液	750mg/m2 250mL	点滴静注	250mL/hr			●																					
8	生理食塩液	50mL	点滴静注	100mL/hr			●																					

内服抗がん剤・支持療法薬

Rp	薬剤名	投与量	用法	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	プレドニゾン	50mg/body or 30mg/m2	朝・昼食後		●●	●●	●●	●●	●●																	
2	グラネセトンゼリー or カイトリル	2mg	化学療法前		●																					
3	カロチール	900mg	ガゼイバ30分前		●																					
4	プレドニゾン錠(プレドニ ゾン注) or デカドロン錠(デキササート 注) or ソル・メドロール注	100mg or 20mg or 80mg	ガゼイバ投与1時 間前までに投与 完了		●																					
5	他、適宜ST合剤、G-CSFなど																									

滴下順

主管

投与方法

薬剤・用量

投与速度/時間

投与時刻(必要時)

漏出時リスク

フィルター

遮光

備考

①

点滴静注	
生理食塩液	50mL
	100 ml/h

②

点滴静注	
ポラミン 生理食塩液	5mg 50mL
	100 ml/h

③

点滴静注	
ガゼイバ 生理食塩液	1000mg 210mL
	備考欄参照

④

点滴静注	
生理食塩液	100mL
	200 ml/h

⑤

点滴静注	
オンコピン 生理食塩液	1.4mg/m2 (最大2mg) 50mL
	500 ml/h

⑥

点滴静注	
ドキシソジン 生理食塩液	50mg/m2 100mL
	200 ml/h

⑦

点滴静注	
エンドキサン 生理食塩液	750mg/m2 250mL
	250 ml/h

⑧

点滴静注	
生理食塩液	50mL
	100 ml/h

軽度起炎症性

フィルター必要

バッグ、ルートともに遮光不要

初回 12.5mL/hr、

30分ごとに 12.5mL/hrずつ

最大 100mL/hrまで増量可

起壊死性

フィルター不可

バッグ、ルートともに遮光不要

起壊死性

フィルター不可

バッグ、ルートともに遮光不要

炎症性

フィルター不要

バッグ、ルートともに遮光不要